

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2002年5月7日

全州に亘り気温が平年を大きく下回り、週の終わりに掛け東部を中心に降水、降雪に見舞われた。平均 5.0 日の農作業可能日数であった。州の中央地区では出芽したばかりの春小麦の霜害が心配される。春小麦の播種は昨年より早い進捗状況であるが、5年平均より遅れている。気温の上昇が望まれているが、次週の気象予報では冬への逆戻りが報ぜられている。土壌 (topsoil) 水分は79%の圃場で“適”と報告されているが (昨年同期：62%)、極めて不足及び不足の土壌は13% (昨年同期：9%) となっている。表土の土壌水分は多少改善されているが、その下の土壌での水分は20%の圃場で不足、6%で著しく不足の状態であり、特に州西部から中央部に掛け降水を必要としている。デュラム小麦の播種の進捗は平年より多少遅れている。

2002年5月5日現在

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	2	11	79	8
Last week (%)	2	12	77	9
Last year (%)	2	7	62	29
5-yr. Ave. (%)	1	12	71	16

Subsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	6	20	70	4
Last week (%)	7	21	68	4
Last year (%)	1	5	66	28
5-yr. Ave. (%)	1	10	74	15

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Spring wheat (%)	-	-	-	-	-
Durum wheat (%)	-	-	-	-	-

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Spring wheat Planted (%)	23	10	15	34
Emerged (%)	2	0	2	11
Durum wheat Planted (%)	6	2	6	15
Emerged (%)	0	na	1	3

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service